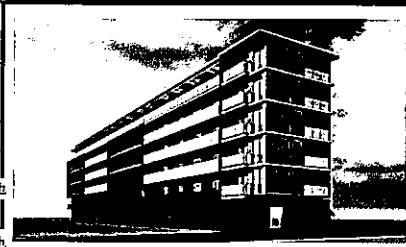


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)向日市寺戸修理工計画	階数	地上6F
建設地	向日市寺戸修理工29-1	構造	RC造
用途地域	向日市寺戸町修理工29番1	平均居住人員	89人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年2月22日
敷地面積	1,551㎡	作成者	株式会社アクセス都市設計 湯淺 勝也
建築面積	832㎡	確認日	2022年2月22日
延床面積	3,817㎡	確認者	株式会社アクセス都市設計 湯淺 勝也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 103%

③上記+②以外の 98%

④上記+ 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項	
総合	F★★★★を全面的に採用し、昼光率の高い窓を設けるなど、室内環境向上への配慮を行っている。
その他	
Q1 室内環境	カーテン・庇によりグレアを制御 全面的にF★★★★を使用 昼光率2.5%以上 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している
Q2 サービス性能	内装仕上げ材や配管材料は耐用年数の長いものを採用 階高2.9m以上
Q3 室外環境 (敷地内)	外構緑化指数20%以上
LR1 エネルギー	太陽光発電設備を設置
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を用いた建材を採用 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+PB)
LR3 敷地外環境	光害対策を行っている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される